



←7月8日土曜日。対岸の葛飾柴又では「TOKYOウォーク2017」が開かれていた。20キロ～4キロまで4コースに4,000人が参加した。

→真夏日になった土曜日。舟頭さんの次男が舟をこいだ。

九州のほうでは大雨で被害がでてい
るといのに、矢切の渡しのある関東
地方では、いまから真夏の水不足が心
配されている。

そんな暑い日に対岸の葛飾柴又では
東京都主催の「TOKYOウォーク2
017」が開かれ、にぎやかな音楽が
鳴り響いていた。

「昨日からテントがたてられていたの
はこのためだったのか」

矢切の渡しに下りていったら舟頭さ
んがそういつて対岸の柴又側を見てい
た。さすが夏だからか、テントの色は
みな白に統一されていた。

たてる幟も水色で、さすがに涼しく
見えるように演出してある。これが緑
だったら小池色が強く、いやみになる
ところだが、そのあたりはしつかり計
算されているようだ。

「それにしても、この暑いのに二十キ
ロ歩くのは大変だろうなあ」

舟頭さんは、わがことのように心配
する。たしかに照りつける太陽。暖め
られたアスファルトからの放射熱。歩
くのは並大抵のことではない。

今週のクマ

→暑い日が続く。江戸川で水泳を楽しむクマ。



→江戸川の堤防を彩るヤブカンゾウの花がいっせいに咲いた。わずか1週間、人々の目を楽しませてくれた。



「だけど東京都としたら二〇二〇年に向けていいデータがとれるんじゃないの」
つまり、この暑さのなかで行われるオリンピックに選手はもちろんだが、たくさんのお客たちがはたして耐えられるかどうか、このイベントであるていどデータが取れるのではないだろうか。

「だいたいオリンピック招致のときの文書には、「七月八月はスポーツに最適な時期だ」と書いて提出したそうだから、いまさら暑いからと泣き言をいってなどいられない。そこで実際にどのていどの影響があるかをウォーキングを通じて調べておこうと東京都としては考えているのだろう。それにしても暑い。」

「だけどさあ、天気予報いまだったら、今日は暑くなるので外出は控えましょう」といっているけど、オリンピックのときは天気予報も変えるのかなあ」

「そういうと、
「当然じゃないの、なにしろ国家事業なんだから……」

「いまの政府ならそのていどのことなど平気でやるのではないだろうか。なにしろ総理大臣がマリオに扮して土管からリオに登場したくらいなもの……。」